

学年 小学校6年生
 テーマ 地域
 主な学習形態 学年

単元名
 大和小学校は13歳になりました。大和小をもっと好きなみんなにしよう。

本質的な問い
 大和小学校のために、自分ができることって何？

単元で解決を目指す生活・社会の問題
 大和小学校のことをもっと好きになってもらう。

社会参画：PBL
 大和小学校や大和町のために、これからどんなことができるのか、自己の生き方や将来とつなげながら考える。

＜課題の設定＞
 地域の方からのアンケート結果をもとに、本番①の振り返りをする。

本番②発表参観日・6年生を送る会

＜まとめ・表現＞①・③
 発表参観日や6年生を送る会で発表をする。（2回目）
 これまでの学習を振り返る。

＜情報の収集＞
 さらに好きになってもらうために、係ごとに何ができるか考える。
 手立て：これまでの学習の想起
 5年生や前回の学習の振り返らせ、さらに何ができるか考える。

＜整理・分析＞⑨
 係ごとに、アンケートやポスターを作成したり、練習に取り組んだりして準備を進める。

手立て：アンケート結果の提示
 元気まつりで行った地域や保護者の方からのアンケート結果をもとに、成果や課題を振り返らせる。

＜課題の設定＞⑧-1
 だいわ元気まつりで発表するために、どんな係が必要か考える。

自己課題：自分のよさを活かせるような係を選択させる。

本番①元気まつり

＜まとめ・表現＞⑩
 元気まつりで発表をする。うまくいったことといかなかったことを振り返る。

＜情報の収集＞⑤
 係ごとに、何をしなければいけないのか必要な情報を収集する。

＜整理・分析＞②・⑧-2
 係ごとに、衣装やアンケート・ポスターを作成したり、練習に取り組んだりして準備を進める。

手立て：実行委員会への参加
 元気まつり実行委員会で、参加へのプレゼンをするにより、実社会とのつながりを実感させる。

運用：5年生のときに華kinカフェで販売するために必要だったことは何があったのか振り返らせる。

テーマ発表
 大和小学校って、みんな（児童・保護者・地域の方）から好かれているのかな？

＜課題の設定＞④
 大和小学校のことがどれくらい好きなのか、現状を調べる。

取り組みの設定

＜まとめ・表現＞⑦
 発表したことをもとに、ふさわしい取り組みを考え、決定する。

＜情報の収集＞
 大和小学校のことをもっと好きになってもらうために、何ができるか調べる。

＜整理・分析＞⑥
 アイディアを出し合い、いくつかにしぼるためにプレゼンテーション資料を作成する。

手立て：まとめスライドの作成の視点の提示
 大和小学校をもっと好きになってもらえたか、明確になるようなものを振り返りの視点として示す。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【①知識】 太鼓を発表することを通して、大和小学校には様々なよさがあることを理解している。</p> <p>【②技能】 自分の好きなこと・得意なことを生かして、発表に向けた係に応じた成果物を製作している。</p> <p>【③探究的な学習のよさの理解】 太鼓を発表することが、大和小学校のためだけでなく、今後の自分自身の生き方に深くかかわっていることを理解している。</p>	<p>【④課題の設定】 大和小学校をもっと好きになってもらうためには、何をどのように行っていくか見通しをもって計画を立てている。</p> <p>【⑤情報の収集】 係ごとに太鼓を発表するために必要な情報を効率的に収集する手段を選択している。</p> <p>【⑥整理・分析】 出てきたアイディアの中から視点をもち、比較したり関連付けたりして、確かな理由をもっている。</p> <p>【⑦まとめ・表現】 整理してまとめたスライドを相手にわかりやすく効果的に伝えている。</p>	<p>【⑧-1自己理解】 これまでの自分の生活を見直し、自分の好きなこと・得意なことを理解しようとしている。</p> <p>【⑧-2他者理解】 解決方法について異なる意見や他者の考えを聞き入れようとしている。</p> <p>【⑨主体性・協働性】 自分もしくは他者の良さを生かしながら、協力して太鼓の発表に取り組もうとしている。</p> <p>【⑩将来展望・社会参画】 実社会との関わりの中で、自己の生き方を考え、自分事として取り組もうとしている。</p>